

平成27年度 生涯学習課事業



平成27年度青少年教育事業：夏休み子どもアウトドアクッキング教室

生涯学習スローガン

「広く求めて 広がる知識 広い輪になる広野町」

生涯学習課

平成27年度事業成果報告

「教育環境の構築・提供」と「教育習慣の育成」を意識

○成人教育

多様化する社会生活や環境、家庭生活に対処するため、学習環境の構築と自発的な学習意欲の形成を図り、集団的学習を通じて豊かな人間性を養うとともに教育習慣を育成することを目的としました。

◆ニック先生の英会話教室

広野町外国語指導助手（ALT）の協力のもと、成人向け英会話教室を実施。毎週火曜日の夜間事業とすることで、町民の勤労後の参加も容易としております。



男女問わず幅広い年齢層が参加

◆広野町ふるさと創生大学

世代間交流や地域住民の積極的社会活動参画、教育の習慣化、自己研鑽の場などを促進させるため今年度からの新規事業として開校した町民大学。多様なジャンルからのアプローチで、各授業後の受講者からの考察、感想文及びアンケートでは次年度継続希望がありました。今年度の講義題及び講師氏名は次のとおりです。

- ①海外からみる広野町・・・ニコラス・デイビッド・エヴァンズ（広野町ALT）
- ②ふたばの子どもたちと共に未来をつくる・・・丹野純一（ふたば未来学園高等学校長）
- ③文化の発展とその継承・・・星 長一（檜枝岐歌舞伎 千葉之家花駒座第10代目座長）
- ④皆さんにお伝えしたいこと・・・尾田栄章（元建設省河川局長 第3回世界水フォーラム事務局長）



1クラス編成（30人学級）

○女性学級

以前より公民館に実施要望のあった女性学級（旧「婦人学級」）を創設いたしました。男女混合では実施・活動が困難である事業が展開可能となりました。

◆ナイスレディー講座

女性の社会参画を促進するため、広野町在住・在勤者の女性を対象に茶道及び着付け等の文化的要素を取り込んだ体験型学習講座で好評を博しました。今年度からの新規事業で講義題及び講師所属・氏名は次のとおりです。

- ①基本的なお化粧・・・蛭原景子（メナードフェイシャルサロン エクラリーパール）
- ②ネイル・・・三田知子（ネイルサロンコフレット）
- ③浴衣の着付け・・・尾田祀子（広野町民）
- ④パーソナルカラーの見分け方・・・阿部広美（カラーセラピーサロン&カラースクール I☆am）
- ⑤茶道・・・猪狩順子（茶道「猪狩順子教室」 広野町教育委員）
- ⑥陶芸・・・益子焼のつかもと（益子焼窯元）



女性専用の体験型学習

○青少年教育

震災以降の活動休止を余儀なくされた当該事業であります。青少年教育の根底にある健全な心身育成を図るため、今年度から再開を果たしました。

◆夏休み子どもアウトドアクッキング教室

小学校における夏季休暇を利用し、広野小学校及び広野町児童館と連携して実施しました。調理機器も含め可能な限り手作りすることとし、協調性を養うことを目的に準備から後片付けまでの一連を子ども達が自ら取り組みました。



調理の難しさを体験し、毎日の食事と家族に感謝

○生涯学習事業

教育基本法に基づき、広野町の生涯学習並びに生涯活動の振興と促進を図るため、今年度においては次の事業を実施しました。

- ①手芸教室・・・講師（小久保康子・志賀俊子）毎週火・金曜日 広野町公民館にて
- ②折り紙教室・・・講師（渡辺恵美子）毎週第2・第4土曜日 高久仮設集会所・広野町公民館にて
- ③切り絵教室・・・講師（村松沙織）第1・第2・第5土曜日のうち月2回 広野町公民館にて
- ④料理教室・・・講師（志賀俊子）毎月最終火曜日 ニツ沼総合公園内フラワーパークにて



生きがいがづくりと人間ネットワークの形成に向けて

伝統・文化活動の推進

○伝統・文化活動

広野町の伝統・文化的要素を反映させた各種行事及び活動を推進するとともに、その継承に努めました。

◆文化展の開催

広野町の文化振興に資するため、町民が日頃の文化活動成果を展示し、更なる創作意欲の高揚と文化の向上を図ることを目的に開催しました。



児童生徒の出品も前年度より多く、今年度はより賑やかに

◆生涯学習発表会の開催

今年度より震災以降、開催中止となっていた本事業を再開しました。

また、文化協会新規加入した「広野町盆踊り保存会」も披露し、若い世代の町民が文化継承の大切さを実感する機会となりました。参加団体は次のとおりです。

- ①広野昇竜太鼓・・・和太鼓 他

- ②広野町老人クラブ連合会体操愛好会・・・3 B 体操 他
- ③新舞踊「五ツ扇会」・・・新舞踊
- ④「合唱団めじろたち」広野町コーラス・・・コーラス
- ⑤民舞踊「さくら」・・・民舞踊
- ⑥ひろのフラガールズ・・・フラダンス
- ⑦広野紫扇会・・・日本舞踊
- ⑧広野町盆踊り保存会・・・盆踊り



新規団体の加入もあり生涯学習の再興・振興に

◆成人式の挙行

成人に達した青年男女の新しい門出を祝福すると共に成人者としての自覚を促す行事として挙行いたしました。今年度は86名が新成人として意識を新たにしました。

また、保健センターと連携し違法薬物に係る啓発パンフレットの配布を行いました。



次代を担う新成人たち

社会体育及び生涯スポーツの推進と環境の構築

○社会体育関係団体の育成・支援活動

社会教育・生涯学習の推進と同時に社会体育についても推進することが重要であることから、多様にわたる種目及び活動団体への活動支援を行いました。

◆市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会

県内各市町村民の体力向上と地域興しの一環として、通称「福島駅伝」で幅広く周知が

図られている本大会に県内59市町村が参加（一部は「希望ふくしま」による混成チーム）し、広野町駅伝チームは総合順位39位でゴールしました。

ふるさと「広野町」を代表し、懸命に一本のたすきをつなぐその姿に多くの町民から賛辞を賜りました。



大会参加史上初となる30番台でゴール

◆市町村対抗福島県軟式野球大会

県内各市町村の交流と地域の活性化及び生きがいのある健全な社会の構築を図ることを目的とした本大会に出場しました。59市町村のすべてが出場しましたが、広野町は善戦しましたが惜しくも初戦敗退となりました。代表選手も避難を継続している者が多い中、団結して練習に励み、交流を促進することができました。



広野町を代表し、熱心に練習に励んだ

◆市町村対抗福島県ソフトボール大会

「市町村対抗福島県軟式野球大会」と同じ目的で開催された本大会にも出場しました。この大会も広野町代表選手は熱心に練習に励みましたが初戦敗退となりました。全53市町村が出場し、試合終了後には他市町村との交流を図ることができました。



練習を通じ初顔合わせのチームメイトとの交流が生まれた

◆広野“ふる里ふれあい”マラソン

地域住民のコミュニケーションの場を提供するとともに、町民の健康維持促進、生きがいのある社会づくりとスポーツの振興を図ることを目的として開催しました。

大会では「公務員ランナー」こと川内優輝氏もゲストランナーとして参加し地域住民とふれあいを持ったこともあり、参加者数266名という盛大な大会となりました。



町内在勤者も多数参加し、町民との交流が生まれた